

個人演説会 会場(予定)

※皆様のお近くの会場に、ご近所の皆様お誘い合わせでお越し下さい。お声掛けよろしくお願ひします。
 ※尚、会場はあくまで予定であり変更の可能性があります。詳細は、HPで確認いただくか、☎330-4088までお問
 合せ下さい。

月日	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場
4月3日(金)	山田町高齢者若者センター 18:30~	和無田町構造改善センター 19:00~	小山町公会所 19:30~	西山町構造改善センター 20:00~
4月4日(土)		垂坂公会堂 19:00~	曾井町公会所 19:30~	新正公会所 20:00~
4月5日(日)	山之色町民会館 18:30~	小杉町公会所 19:00~	橋北地区市民センター 19:30~	三重西小学校 20:00~
4月6日(月)		富洲原地区市民センター 19:00~	富田地区市民センター 19:30~	大矢知興譲小学校 20:00~
4月7日(火)		水沢地区市民センター 19:00~	四郷地区市民センター 19:30~	日永地区市民センター 20:00~
4月8日(水)	志氏神社 18:30~	八郷地区市民センター 19:00~	下野地区市民センター 19:30~	保々ふれあい会館 20:00~
4月9日(木)	内部地区市民センター 18:30~	河原田地区市民センター 19:00~	楠福社会館 19:30~	塩浜地区市民センター 20:00~
4月10日(金)	桜地区市民センター 18:30~	川島地区市民センター 19:00~	常磐地区市民センター 19:30~	本町プラザ 20:00~
4月11日(土)	県地区市民センター 18:30~	海蔵地区市民センター 19:00~	近鉄四日市駅前 19:30~	三重小学校 20:00~

※いながき昭義ホームページをぜひご覧ください※

「県政と私たちとの距離を縮める」これは私が16年前三重銀行を退職して県議会議員選挙に挑戦した時に訴えた、「いながき昭義10の考え」のvol.1です。12年前の初当選から今日まで私はこの初心を忘れることなく継続してきました。定期的にこのDream21やメルマガを発行し、街頭演説、各地区座談会を行ってきました。私のホームページをご覧いただければ、ブログ、フェイスブック、動画を通じて日々の活動報告と情報発信を見ていただけます。

是非、いろいろな政治家のホームページをご覧いただき比較をして下さい。私のホームページから私の政治家としての信条、考え、基本を感じていただき、3期12年間の取組実績をご覧いただければ幸いです。

<http://www.dream-21.jp>

facebook



◆動画は月1~2本公開!!Dream21動画版You Tubeチャンネルでご覧ください

◆フェイスブックは毎日更新!!友達申請募集中、「いいね」お願いします。



<https://www.facebook.com/akiyoshi.inagaki.mie>

◆ブログ「初心、継続。」 <http://ameblo.jp/dream-21>

いながき昭義プロフィール

昭和47年 四日市市東坂部町生まれ(現在42歳) 大池中学校・四日市高校・立教大学法学部卒業
 平成7年~10年 株式会社三重銀行勤務
 平成11年 三重県議会議員選挙出馬(26歳) 12,431票で次点(416票差)
 その後、学習塾・パソコン教室・NPO法人三重県フリーマーケット協会などを立ち上げ4年間生活。
 平成15年 三重県議会議員選挙 初当選以来3期連続当選。
 四日市港管理組合議会第45代議長(歴代最年少)、県議会予算決算常任委員長(歴代最年少)等を歴任
 ※詳細はホームページを参照下さい。



発行：いながき昭義事務所 電話059-330-4088 FAX059-330-4089 〒512-0904 四日市市東坂部町75-1

<http://www.dream-21.jp>

DREAM21

Vol.42

三重県議会議員

あきよし

いながき昭義

後援会報

Contents もくじ

- 出陣式のご案内
- 三重の産業政策、未来への提案
- 消防団協力事業所への優遇税制提案
- いながき昭義ホームページのご案内
- 個人演説会(案)のご案内
- いながき昭義プロフィール



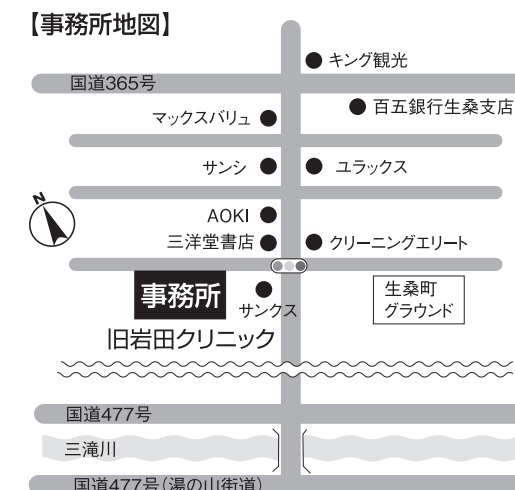
いながき昭義後援会出陣式のご案内

謹啓 日頃は、いながき昭義の政治活動にご指導、ご支援を賜り感謝申し上げます。来る県議選に4期目を目指して下記日程にて出陣式を行います。是非ともお誘い合わせでお越しいただきますようお願い申し上げます。また、事務所の近くにいられましたら是非、気軽にお立ち寄り下さい。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

謹白

後援会長 堀内 定

日時: 4月3日(金) 午前8:00受付開始
 (8:30開式)



場所: いながき昭義後援会事務所
 四日市市生桑町234-1
 電話 330-4088
 FAX 330-4089

※時節柄、ご芳志につきましては
 ご辞退申し上げます。

◆三重の産業政策、未来への提案(3期12年の思いを込めて)

■三重県の航空宇宙産業の取組について

稲垣昭義議員：

県として、今年度中にみえ航空宇宙産業振興ビジョンを策定する予定ですが、策定の進捗状況と内容の重要なポイントをお示しください。また策定後、具体的なその拠点機能、プロジェクト等の考えがありましたらお示しをください。

鈴木英敬知事：

現在策定中のみえ航空宇宙産業振興ビジョンに基づき、短期・中長期的な視点で、人材育成、参入促進、事業環境整備の三つに産学官で取り組みます。

人材育成については、国内の専門機関と連携した航空機製造の現場技能者や専門技術者の育成、海外連携先の人材育成プログラムや学生の海外留学、インターンシップを通じた人材育成に取り組みます。更に、将来を担う子どもたちにも、ボーイング社などと連携の可能性を模索し、航空宇宙産業に関心を持っていただける取組を検討していきます。

企業の参入促進については、既存サプライヤーからの受注獲得促進、航空宇宙産業特有の認証取得に対する支援、国内外におけるビジネスマッチングなどの実施を検討していきます。

事業環境整備については、航空機の増産対応に向けた設備投資の促進、中部地域で集積の低い装備品やMROを重点分野として、国内外からの企業誘致に取り組んでまいります。

【日本の国産旅客機の現状と可能性】

国産旅客機については、戦後のYS11から50年以上の開発空白があって、今回のMRJの挑戦となりました。航空機は300万点の部品で構成され、3万点の部品で構成される自動車の100倍で、極めて裾野の広い産業であり、世界に目を向ければ、企業の参入チャンスは広がっています。

市場を見ると、現在、客席が60席から100席程度のリージョナル機と呼ばれるものについては世界中で3000機から4000機が飛んでおり、今後20年間の新規需要は約5000機が見込まれます。ブラジルの航空機メーカー、エンブラエルと、カナダの航空機メーカー、ボンバルディアが市場を2分している状況の中で、中国のARJとロシアのスーパージェットが国策として新規参入を図っているという現状があります。

今回のMRJの挑戦は、国産旅客機をつくる最後のチャンスであり、国内の航空機関連産業を発展させる最後のチャンスとの思いでスタートし、2017年4月にMRJはいよいよ本格飛行します。

■セルロースナノファイバーの可能性について

稲垣昭義議員：

セルロースナノファイバーについては、国の成長戦略に位置づけられ、経済産業省、環境省、文部科学省がそれぞれ来年度予算の概算要求を行っていますが、国の予算の活用も含め、本県として積極的にかかわっていくべきと考えますが、御所見をお伺いします。

廣田恵子雇用経済部長：

セルロースナノファイバーの量産に成功した県内企業と連携し、新たなプロジェクト化を目指すため、国のナノセルロース推進関係省庁連絡会議を構成する農林水産省や経済産業省などの各省庁の施策の動向を注視しつつ、国内外

の情報収集に努めたいと考えております。アンテナを高く持って、積極的にこのような事業を活用していきたいと考えております。

【セルロースナノファイバーとは】

セルロースナノファイバーは全ての植物細胞の基本骨格ナノファイバーで、1兆トンの蓄積がある持続的再生可能資源です。これは、埋蔵原油の約8倍とも言われています。また、その物自体は鋼鉄の8倍の強度があり、強く軽く透明であり、パルプからとれるため安価で価格競争力があり、化学修飾がしやすく様々なバリエーションが可能であり、多様な分野に利用できるものです。

様々な用途として、例えば車や船、飛行機などのボディ、あるいは液晶画面等モニターの素材、また、食品関連（溶けにくいソフトクリームなど）、医療関連（人工腱とか人工血管など）、本当に様々な多岐な分野に今後利用が見込まれます。

◆消防団協力事業所への優遇税制提案

稲垣昭義議員：

消防団協力事業所への優遇措置について提案します。新政みえでは、長野県が平成19年に制定した「消防団の活動に協力する事業所等を応援する県税の特例に関する条例」を調査しました。平成18年に国が創設した消防団協力事業所表示制度に基づく消防団協力事業所に認定されていて、消防団員が2名以上在籍している、資本金3000万円以下の中小法人または青色申告の個人事業主については、消防団活動に協力する事業所として、限度額10万円で、税額の2分の1の法人事業税、個人事業税の減免を受けることができるというものです。

長野県と静岡県で導入されている消防団協力事業への優遇措置という先進的な取組は、消防団員が減少しサラリーマン化が進んでいる本県においても非常に効果的なものであって、本県においても新たな条例制定を行うべきと考えますがいかがですか。

鈴木英敬知事：

政策立案には、税、補助金、法律等いろんな手段がある中で、税を選択することはすごく難しいことです。今回、消防団の皆さんの加入促進とか、協力してくれている事業所を応援するという取組はやりたいと思っています。長野県と静岡県の税制で心配しているのは、個人事業税の場合、所得が290万円以上の方じゃないとこの税の減免が受けられないとか、農業、林業の人たちが減免を受けられない、あるいは法人事業税も、欠損法人が7割ある中で、赤字企業はこの減免を受けられないということから、赤字企業であつたり低所得であるのに消防団に協力してくれている個人や企業の皆さんにその税の恩恵が行かないという制度になってしまいます。そこは制度設計の工夫とかいろいろ必要だと思ひ深い議論が必要だと考えます。

【その他質問項目】

◆白い小箱運動(災害に備えた個人備蓄の推進運動)の更なる展開について

稲垣昭義が各高校で白い小箱の導入を提案した結果、一年間で取組が進み私立学校では、中学校4校、高等学校4校の計8校が導入しており、県立高校でも8校が導入しました。今後更に小中学校も含めてこの取組が広がるよう提案しています。

稲垣昭義
活動ショット！



平成26年7月17日
第6回未来創造セミナー開催



平成26年12月4日
一般質問に登壇



平成26年12月
衆議院議員選挙岡田かつや候補応援演説



平成27年1月14日
ヴィアティン三重第5回オレンジトーク
武田美保さんと対談



予算決算常任委員長として知事要望